

専門学校アレック情報ビジネス学院 学則

第1章 組織

(目的)

第1条 本校は、学校教育法及び私立学校法に基づき、商業実務分野及び工業分野の専門課程を設置し、職業若しくは実生活に必要な技能の取得及び教養の向上を図り、以て社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校は、専門学校アレック情報ビジネス学院という。

(位置)

第3条 本校の位置は、青森県八戸市大字廿三日町11番地に置く。

第2章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日等

(課程、学科、修業年限並びに定員等)

第4条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は、次のとおりとする。

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	備考
商業実務 専門課程	ITエンジニア科	2年	15名	30名	昼間 30名
	事務ビジネス科	2年	15名	30名	昼間 30名
	医療事務・ ドクターズクラーク科	2年	30名	60名	昼間 60名
	公務員科	2年	40名	80名	昼間 80名
	ニューメディア研究科	1年	20名	20名	昼間 20名
工業 専門課程	建築科	2年	20名	40名	昼間 40名

(学年及び学期)

第5条 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 商業実務専門課程・工業専門課程の学期は、次のとおりとする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第6条 本校の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日、日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で休日とされる日
- (3) 夏季休業 7月21日～8月27日
- (4) 冬季休業 12月15日～翌年1月8日
- (5) 春季休業 3月18日～4月14日
- (6) 開校記念日

第3章 教育課程、授業時数及び職員組織

(教育課程及び授業時数)

第7条 本校の教育課程及び授業時数は、別表1のとおりとする。

(始業及び終業の時刻)

第8条 本校の始業及び終業の時刻は、次のとおりとする。

- (1) 商業実務専門課程・工業専門課程は、午前9時5分から午後3時55分まで(昼間)とする。

(職員組織)

第9条 本校に、次の教職員を置く。

- (1) 校長 1名
- (2) 教員 7名以上
- (3) 講師 1名以上
- (4) 助手 1名以上
- (5) 事務職員 3名以上
- (6) 学校医 1名

2 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、退学、成績評価、進級、卒業及び賞罰

(入学資格)

第10条 本校の商業実務専門課程・工業専門課程の入学資格は、高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は、文部大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者とする。但し、ニューメディア研究科の入学資格者は、本校情報システム科又は情報ビジネス科を卒業した者、または同等の学力を有する者とする。

(入学時期)

第11条 本校の入学時期は、毎年4月とする。

(入学手続)

第 12 条 本校の入学手続は、次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、第 21 条に定める入学検定料を添えて指定する期日までに出席しなければならぬ。
- (2) 前号の手続を終了した者に対して選考を行い、校長が入学を許可する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から 7 日以内に第 21 条の入学金を添え手続をとらなければならない。

(休学及び復学)

第 13 条 生徒が疾病その他やむを得ない事由により、7 日以上休学する場合は、診断書及びその事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の者が復学しようとする場合は、届出て復学することができる。

(退 学)

第 14 条 退学しようとする者は、その事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

(成績評価)

第 15 条 各科目の成績の評価は筆記試験又はレポート等により、原則として学期末に行い、60 点以上を合格とする。

- 2 当該科目の出席日数が出席すべき日数の 80 パーセント未満である者は試験を受けることができない。
- 3 正当な事由により試験を受けることができなかった者及び第 1 項の規定により不合格となった者には、願い出により追試験を行うことができる。

(進 級)

第 16 条 前条の規定により所定の科目に合格し、次の各項の条件を充たした者に進級を認める。

- 2 1 年次の全授業時間の出席率が 90 パーセント以上であること。
- 3 検定取得状況が基準を充たす見込みがあること。

(卒 業)

第 17 条 第 15 条の規定により所定の科目に合格し、次の各項の条件を充たした者には成績会議を経て校長は卒業証書（別紙様式）を授与する。

- 2 卒業年次の全授業時間の出席率が 90 パーセント以上であること。
- 3 卒業基準検定を取得していること。

(称号の授与)

第 18 条 前条により、商業実務専門課程 IT エンジニア科・事務ビジネス科・医療事務・ドクターズクラーク科・公務員科を卒業した者には、専門士（商業実務専門課程）の称号を授与する。また、工業専門課程建築科を卒業した者には、専門士（工業専門課程）の称号を授与する。

(褒 賞)

第 19 条 成績優秀にして、他の模範となる者は、これを褒賞することがある。

(懲 戒)

第 20 条 次の各号の一に該当する者には、退学を命ずることがある。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者
- (5) 第 21 条第 4 項に該当する者

(入学金及び授業料等)

第 21 条 本校の入学金、授業料等は、別表 2 のとおりとする。

- 2 本校の授業料及び維持費は、各々これを 2 回に分割し、前期分は、前納し、後期分は、当該年度の 8 月 31 日までに納入するものとする。
- 3 本校の施設設備費は、前納とする。
- 4 正当な理由がなく、かつ、所定の手続を行わずに授業料等を 2 箇月以上滞納し、その後においても納入の見込がないときは、退学を命ずることがある。
- 5 既納の入学検定料、入学金、授業料及び施設設備費並びに維持費は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

(健康診断)

第 22 条 健康診断は、年 1 回、別に定めるところにより実施する。

付 則

(施行期日)

この学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

第2条については、青森県知事の認可のあった日から施行する。

第4条については、平成31年4月1日から施行する。

第7条については、平成30年4月1日から施行する。

第17条・第18条については、2021年3月卒業生から施行する。

(情報ビジネス科、OA事務科の存続に関する経過措置)

情報ビジネス科、OA事務科は、改正後の学則第4条、第7条、第17条、第18条及び第21条の規程にかかわらず、2020年3月31日に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、入学定員については次のとおりとする。

学 科 名	平成30年4月 の入学者	平成31年4月 以降の入学者
ITエンジニア科	30名	20名
情報ビジネス科	30名	
事務ビジネス科		30名
OA事務科	30名	
医療事務・ドクターズクラーク科		30名
公務員科	30名	40名
ニューメディア研究科	20名	20名

卒業証書

氏名

生年月日

右の者は本校商業実務専門課程

ITエンジニア科

事務ビジネス科

医療事務・ドクターズクラーク科

公務員科

ニューメディア研究科

を卒業したことを

証する

令和 年 月 日

専門学校アレック情報ビジネス学院

校長 福井 武久

第 号

卒業証書

氏名

生年月日

右の者は本校工業専門課程

建築科を卒業したことを

証する

令和 年 月 日

専門学校アレック情報ビジネス学院

校長 福井 武久

第 号

別表 1

カリキュラム表

(1) ITエンジニア科

授業科目	必修・ 選択 の別	履修年次別 時間数		備考
		1年	2年	
コンピュータシステム	必	138		専門科目
マネジメントサイエンス	〃	116		〃
Java言語 I	〃	119		〃
アルゴリズム設計	〃	98		〃
システム設計	〃	50		〃
ネットワーク技術	〃	54		〃
データベース技術	〃	50		〃
HTML言語	〃	68		〃
Excel	〃	49		〃
情報数学	〃	68		〃
検定対策	〃	72	116	〃
システム開発	〃		111	〃
Webプログラミング	〃		104	〃
Python言語	〃		82	〃
デジタル画像処理	〃		32	〃
サーバ構築実習	〃		32	〃
ラズパイ実習	〃	72	32	〃
Word	〃		34	〃
データベース (Access)	〃		34	〃
卒業研究	〃		196	〃
コミュニケーション技法	〃	68		一般教養
ビジネスマナー	〃	35		〃
商業簿記	〃		119	〃
プレゼンテーション技法	〃		48	〃
就職実務	〃		34	〃
ペン字	〃		34	〃
LHR・行事	〃	89	46	〃
合計		1146	1054	

カリキュラム表

(2) 事務ビジネス科

授業科目	必修・ 選択 の別	履修年次別 時間数		備考
		1年	2年	
商業簿記	必	434	84	専門科目
工業簿記	〃	226	56	〃
Excel	〃	92	119	〃
コンピュータ会計	〃	50	56	〃
Word	〃	85		〃
法人税法	〃	54		〃
コンピュータ概論	〃	45		〃
所得税法・消費税法	〃		92	〃
給与計算・社会保険事務	〃		56	〃
プレゼンテーション技法	〃		68	〃
リスクマネジメント	〃		51	〃
卒業研究	〃		154	〃
ペン字・毛筆	〃	36	70	一般教養
コミュニケーション技法	〃	30		〃
ビジネスマナー	〃	34		〃
就職実務	〃		154	〃
LHR・行事	〃	90	62	〃
合 計		1176	1022	

カリキュラム表

(3) 医療事務・ドクターズクラーク科

授業科目	必修・ 選択 の別	履修年次別 時間数		備考
		1年	2年	
医療事務	必	160		専門科目
商業簿記	〃	131		〃
マルチメディア実習	〃	35		〃
ワードプロセッサ	〃	213	126	〃
秘書学	〃	135	67	〃
表計算	〃	184	111	〃
接遇マナー	〃	90	62	〃
ドクターズクラーク	〃	63	84	〃
調剤事務・医療事務実践	〃		52	〃
医事コンピュータ実習	〃		48	〃
卒業研究	〃		260	〃
華道	〃	70		一般教養
ビジネスマナー	〃	35		〃
ペン字・毛筆	〃		70	〃
就職実務	〃		70	〃
LHR・行事	〃	90	62	〃
合計		1206	1012	

カリキュラム表

(4) 公務員科

授業科目	必修・ 選択 の別	履修年次別 時間数		備考
		1年	2年	
文章理解	必	170	110	専門科目
数的処理	〃	129	198	〃
自然科学	〃	116	66	〃
人文科学	〃	105	110	〃
社会科学	〃	85	44	〃
表計算	〃	142	30	〃
ワードプロセッサ	〃	42	10	〃
公務員試験対策	〃	320	185	〃
マルチメディア実習	〃	36		〃
7時間目	〃		110	〃
商業簿記基礎	〃		30	〃
リスクマネジメント	〃		25	〃
卒業研究	〃		115	〃
ビジネスマナー	〃	34		一般教養
ペン字	〃		20	〃
就職実務	〃		10	〃
LHR・行事	〃	92	59	〃
合計		1271	1122	

カリキュラム表

(5) 建築科

授業科目	必修・ 選択 の別	履修年次別 時間数		備考
		1年	2年	
建築設計製図	必	140	64	専門科目
建築計画	〃	106	32	〃
建築構造力学	〃	70	32	〃
建築法規	〃	70	32	〃
建築一般構造	〃	70		〃
建築材料	〃	70		〃
建築施工	〃	70		〃
JWCAD	〃	140		〃
建築図学	〃	70		〃
PC演習 (Excel、Word)	〃	70		〃
福祉住環境	〃	30		〃
建築環境工学	〃		32	〃
建築設備	〃		32	〃
検定対策	〃		64	〃
建築士対策 (製図)	〃		64	〃
建築士対策 (計画)	〃		22	〃
建築士対策 (建築環境工学)	〃		21	〃
建築士対策 (建築設備)	〃		21	〃
建築士対策 (法規)	〃		48	〃
建築士対策 (構造)	〃		96	〃
建築士対策 (施工)	〃		32	〃
AutoCAD	〃		128	〃
専攻ゼミ	〃		96	〃
卒業制作	〃		64	〃
一般教養	〃	19	16	一般教養
キャリア教育	〃	16	16	〃
就職実務	〃	35	16	〃
オリエンテーション	〃			〃
ビジネスマナー	〃	35		〃
LHR・行事	〃	105	50	〃
合計		1116	978	

別表 2

学費等一覧

学 科 名			入 学 金 (年額)	授 業 料 (年額)	施 設 設 備 費 (年額)	維 持 費 (年額)
商業実務専門課程	I Tエンジニア科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	160,000 円
	事務ビジネス科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	160,000 円
	医療事務・ ドクターズクラーク科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	160,000 円
	公 務 員 科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	160,000 円
	ニューメディア研究科	昼	—	360,000 円	—	140,000 円
工業専門課程	建 築 科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	160,000 円

入学検定料 15,000 円

なお、2019年4月に入学した者は下記のとおりとする。

学 科 名			入 学 金 (年額)	授 業 料 (年額)	施 設 設 備 費 (年額)	維 持 費 (年額)
商業実務専門課程	I Tエンジニア科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	150,000 円
	事務ビジネス科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	150,000 円
	医療事務・ドクターズクラーク科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	150,000 円
	公 務 員 科	昼	100,000 円	510,000 円	190,000 円	150,000 円
	ニューメディア研究科	昼	—	360,000 円	—	140,000 円

入学検定料 15,000 円